

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第6区分
【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公開番号】特開2006-76581(P2006-76581A)
【公開日】平成18年3月23日(2006.3.23)
【年通号数】公開・登録公報2006-012
【出願番号】特願2004-259970(P2004-259970)
【国際特許分類】

B 6 5 D 33/28 (2006.01)

B 6 5 D 33/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 33/28

B 6 5 D 33/10

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月20日(2006.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記第3工程において、半折帯の折り曲げ縁より、前記提げ手用溶着部切除用切込みを提げ手用溶着部に添って、前記請求項2記載の発明の第4工程におけるU字切込みの一部と交叉する位置まで設けることを特徴とする請求項1または2記載の縛り片2対付き手提げ袋の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

各縛り手の根元は袋の開口部にそれぞれ丸味のある隅角部によって、滑らかに連なっているから、これらの根元に荷重が集中せず、縛り手、殊に袋のガゼット折り込みの谷部分の縛り片の付け根から裂けるおそれの無い丈夫な効果を有する。更に、袋として、正ガゼット折り込み袋であって、これが半折状態のまま底用溶着部が形成されているから、この状態で安定しており、これらを、更に袋の幅方向に折り目を付けて、折り畳んでも、やはり安定して折れ曲がり、この袋多数を重ねて外袋やダンボール箱によって包装した場合においても、その状態が安定し取扱易い。また前記提げ手はゴミ袋として使用したとき、提げ手を持てば袋全体が持ち上げ易い。